**中央労福協とは**

　労働者福祉中央協議会（略称＝中央労福協）は、1949年８月30日に「労務者用物資対策中央連絡協議会」、いわゆる「物対協」として設立されました。その背景には、戦後の物資・食料難があり、労働団体・労働組合や購買生協（生活協同組合）は生きるための切実な要求を掲げて運動を展開していました。やがて共同行動の機運が高まり、イデオロギーの違いを超えて、「福祉はひとつ」を合い言葉に結集したのが物対協であり、今日の中央労福協です。

　中央労福協は、現在、労働団体や労働者福祉に関わる事業団体、生活協同組合の全国団体、ならびに全国に組織されている地方労福協で構成する勤労者福祉活動のための中央組織です。

　中央労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざして、幅広い立場からの政策提言や運動を企画・実践するとともに、構成団体・組織間の相互協力の促進や福祉活動に関する協議や連絡・調整を行っています。